

教育の

ひろば

VOL.82

2013年(平成25年) 12月20日発行

品川区教育委員会

〒140-8715 品川区広町2-1-36

☎3777-1111



今しかできない、 子どもとの楽しい思い出を！

品川区教育委員会教育委員 波多野 美佳

自分の子どもと、どんな時間を過ごしたいと考えていますか？

私には、二人の娘たちとの体験や思い出が、とても素敵な心の財産になっています。

私の娘は、生き物が大好きです。私は、そんな子どもも大好きなことを、たくさん経験させてあげたいと願い子育てをしてきました。

その結果、我が家では実にいろいろな生き物と関わる機会をもってきました。

例えば、カブトムシは毎年夏になると、山からとってきていました。さらに、そのカブトムシが産んだ卵

を孵化させます。アゲハ蝶を育てるために、玄関先に夏みかんの植木を買っておいておきました。すると、ちゃんとアゲハ蝶が来て卵を産んで、幼虫からサナギになり、蝶になるところも観察しました。川でとってきた、ドジョウやナマズも飼いました。可愛いシマリスやうさぎも飼っていました。

研究で、苔の中にいる肉眼では見えないクマムシを顕微鏡で探しました。また、切断しても自己再生するプラナリアをとってきて、実験してみました。切断するのはかわいそうでしたが、

本当にちゃんと元の姿に変化して驚きました。まだまだ、他にもたくさん生き物がいました。

このように、実際に見たり、触ったりすることで、その感動は大きくなります。昆虫をたくさんとりまわが、できるだけその場で逃がしてあげるようにして、生命の大切さも教えてきました。

子どものためと思ってきたことが、それは私にもとても素敵なギフトになりました。今もふとした時に、子どもたちが生き生きとした体験をして喜んでいる笑顔や、ともに楽しんだ感動

が心に浮かびます。すると、なんとも心が平和な気持ちで満たされます。また、親子で思い出話に花が咲きます。

子どもと一緒に過ごすことができる時間は、「忙しい、大変！」と言っている、あつという間に過ぎていきます。「子どものためにする」というより「一緒に楽しむ」感覚で、子育てできるといいですね。

今しかできない子どもとの時間と体験を、大切にしてください。

いじめ根絶宣言を制定

「いじめ根絶宣言」を平成25年9月24日の教育委員会で議案決定いたしました。

今後、この宣言に基づき、児童・生徒会が中心となつて各学校独自の宣言を行う予定です。

いじめ根絶宣言

いじめは、重大な人権侵害であり、決して許されません。
いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こり得ます。
学校教育に携わる私たち関係者と 児童・生徒、各家庭、
地域の方々、関係機関等、それぞれが協力して、いじめの未然防止・早期発見・早期解決を図り、地域社会が一丸となって、
以下のように いじめ根絶に取り組むことを誓います。

- 一 いじめは、どんな理由があつても決して許してはならない。
- 一 いじめは、どんな状況にあつても見すごしてはならない。
- 一 全ての区民参加で、いじめは絶対に許さない社会をつくりあげる。

平成二十五年九月二十四日

品川区教育委員会



小学校教員による7年生の授業参観

いじめ根絶に向けて、6月・11月・2月の第1水曜日を「小中一貫の日」とし、全教職員対象の研修を行っています。
今年度、第1回の「小中一貫の日」（6月5日）は、全ての小学校教員が各中学校に出向いて、7年生の市民科の授業を参観しました。その後は、小中の教員が一緒になって、情報交換をし、活発に意見を交わして、連携を深めました。

いじめ根絶に向けて「小中一貫の日」を実施



第2回小中一貫の日 いじめ防止の合同研修会

第2回（11月6日）は、豊葉の杜学園を会場に全体研修会を実施しました。会では、渋谷正宏指導課長によるリードで区内全教職員で「いじめ根絶宣言」を読み上げ、一丸となつて対応することを誓いました。

第3回の「小中一貫の日」（平成26年2月5日）は、各小学校に中学校の教員が出向いて、6年生の授業を参観し、情報を交換する予定です。

品川区固有教員宿泊研修を 実施しました

「ずっと品川の先生」のキャッチフレーズで始まった品川区固有教員の採用も今年で5年目となり、教員数は15名となりました。

固有教員には、品川区の教育を中心となって推進するという役割があります。

そこで、平成24年度から、区長を会長とする「品川区教志研究協議会」を発足し、固有教員の資質や能力の向上を図るための研修を実施しています。

今年度も7月31日から8月2日までの2泊3日で宿泊研修を実施しました。



分科会とプレゼンテーション

今回の宿泊研修では、小中一貫教育の未来を考えることを主題とした研究と講話を実施しました。研究では、品川区固有教員が市民科学習、英語教育、理数教育の3つのテーマの分科会に分かれ、現状の課題や、その原因として考えられることについて学校現場での経験をもとに話し合いました。

講話では、区長、教育長、教育委員、そして学校経営監が登壇。区の固有教員に期待すること、教師としての心構え、自己研鑽の大切さ、などの話を聞き、品川区固有教員としての役割を再確認しました。

3日間の研修を通して、公私ともに仲間との結束を固めるよい機会となりました。



区長講話

特色ある教育活動

○特別支援教育の充実

本区では、子どもたち一人一人の様々な教育ニーズに応じて、適切な指導および必要な支援を行えるよう、特別支援教育の充実を図っています。

現在、源氏前小学校が「インクルーシブ教育システム構築モデルスクール」（平成25年度文部科学省）、「発達障害のある児童・生徒の指導内容・方法に関する研究開発校」（平成24・25年度東京都）の指定を受け、発達障害に有効な指導内容等を研究しています。今後は、開発された教材等が区内全校で活用できるようにし、特別支援教育の充実を更に図ってまいります。

○理数フロンティア校

今年度は、上神明小学校と鈴ヶ森中学校が理数フロンティア校（東京都指定）として、効果的な教材や指導方法の開発、地区公開講座等の先進的な取組を実施し、その内容を区内の各学

校に対して情報発信しています。対象校では、教員を対象とした理数教育に関する研修等を行うなど、品川区における理数教育の中核的な役割を担っています。

○アスリート一日校長先生

7月11日（木）に小中一貫校荏原平塚学園で東京都のスポーツ教育推進の取組の一環としてアスリートの「一日校長先生」事業が行われました。

今回は北京オリンピック男子マラソン代表であり、陸上競技指導者の尾形剛先生に来ていただきました。尾形先生からは、小学校時代のこと、病氣と闘いながら競技を続けていた辛い時期のこと、オリンピックに出場したときのことなど、いろいろなお話を伺いました。また、その後の実技指導では、速く走るための正しいフォーム等を教えていただきました。尾形先生の発案による児童数名との競争もあり、大変盛り上がりしました。